

令和 5 年 4 月 28 日

京都市子ども若者はぐくみ局

児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症の取扱いについて

児童福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合や感染者が発生した際の対応については、この間、適宜見直しを行いながら、各施設や市民の皆様の御協力のもと、施設における感染拡大防止に取り組んでまいりました。

この度、新型コロナウイルス感染症について、令和 5 年 5 月 8 日から、感染症法上の取扱いが第 2 類から第 5 類に変更されることを踏まえ、保健所と協議のうえ、下記のとおり対応を見直します。

なお、各施設におかれては、これまで実施してきた基本的な感染対策を踏まえ、取扱い変更後においても必要な感染対策を実施いただくとともに、職員及び利用児童とともに少しでも「体調がおかしい、悪い」と感じた場合は「無理せず休む」ことを徹底し、感染予防・拡大防止に取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

<変更等の概要>

項目	令和 5 年 5 月 7 日まで	令和 5 年 5 月 8 日以降
休園基準等	原則休園しない ※ただし、以下の場合はクラス休園 ○同一クラスにおいて、職員、児童含め、陽性者が 5 名以上確認された場合 ○その他、施設が必要と判断し、本市が必要性を認めた場合	休園しない
療養期間	有症状：発症日から 7 日間経過し、かつ、症状軽快後 24 時間経過した場合は 8 日目 無症状：検体採取日から 7 日間を経過した場合は 8 日目	外出自粛の要請ではなく、あくまでも療養の目安として「発症したあと 5 日を経過し、かつ症状軽快したあと 1 日を経過するまで」
濃厚接触者の登園自粛	以下①②のいずれかの遅い方を 0 日目として 5 日間（6 日目解除） ①コロナと診断された方の発症日 ②コロナと診断された方の発症等により住居内で感染対策を講じた日	濃厚接触者として特定されない。 また、法律に基づく外出自粛も求められない。
保育料の取扱い	上記により施設利用できなかった日数に応じ、保育料を日割減額する。	保育料の日割減額は行わない